

**〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕**

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	2節 7項	効率的消防体制の確立
担当課・係名	消防本部総務課 消防係【問合せ・質問等の先（内線番号）			446番】

<b>業務の名称</b>	消防施設整備																																														
(1) 根拠法令・条例	消防組織法、消防水利の基準、消防力の整備指針																																														
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 20.4% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：___人・日 (臨時雇用者延人数：___人・日)																																														
(3) 事業費 (人件費分を除く)	7,030千円 (平成19年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する) 30-1)																																														
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	___% (平成19年度実績)																																														
(5) 業務期間	開始した年度	昭和55年度	終了 (予定) 年度	年度																																											
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)																																															
① 業務目的 (達成目標)	消防責務を果たすために必要な施設整備に取り組む。																																														
② 業務が対象とする住民 (地域、層)	町民全体																																														
③ 業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65ミリ消火栓の設置</li> <li>・ 消防車両等の整備計画の見直し</li> <li>・ 法定点検の実施</li> </ul>																																														
④ 業務の実施結果 (平成19年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防水利の充足していない場所に65ミリ消火栓を設置することにより、消火活動が有効にできるよう計画的に進めた。</li> <li>・ 消防車両の安全活動のため、消防車両等の整備計画を見直し、整備及び更新を計画的に見直す。</li> </ul>																																														
	<b>【業務結果の説明指標】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>65ミリ消火栓設置 869千円</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>消防車両等の整備計画の見直し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>法定点検 (消防団車両) 82千円</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>継続検査 (消防団車両) 543千円</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1	65ミリ消火栓設置 869千円	1	1	1	1		2	消防車両等の整備計画の見直し						3	法定点検 (消防団車両) 82千円	9	9	9	9		4	継続検査 (消防団車両) 543千円	5	4	5	3		5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1	65ミリ消火栓設置 869千円	1	1	1	1																																										
2	消防車両等の整備計画の見直し																																														
3	法定点検 (消防団車両) 82千円	9	9	9	9																																										
4	継続検査 (消防団車両) 543千円	5	4	5	3																																										
5																																															
⑤ 業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防水利の充足率の向上は図れ、有効な消火活動が出来るようになった。</li> <li>・ N o x ・ P M法の該当する車両を含めた消防車両等の整備計画の見直しが見直しができた。</li> </ul>																																														
	<b>【業務成果の説明指標：基本計画準拠】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1							2							3							4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1																																															
2																																															
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

・消防水利（65ミリ）の充足が出来ていない場所は、水道配管口径が消火栓を設置出来る口径（150ミリ以上）を満たしていないことから今後、充足率の向上は、65ミリ消火栓設置条件の水道配管布設換えが必要である。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

・65ミリ消火栓設置は、毎年1基設置出来ている。  
・Nox・PM法に該当する車両だけではなく、安全かつ効率的に活動できるよう車両更新計画を毎年見直す必要がある。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.5点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>② 見直して継続（業務の拡大）</li><li>③ 見直して継続（業務の縮小）</li><li>④ 見直して継続（方法の改善）</li><li>⑤ 見直して継続（他業務と統合）</li><li>⑥ 廃止する。</li><li>⑦ 休止する。</li></ol>
② 価理由	消防水利配置計画、車両等整備計画を毎年見直し、計画に基づいた事業を実施できた。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

広域化を視野に入れ、計画的に整備を進めていく必要がある。